

2016年9月 台風16号

9月19日夜から20日未明にかけて、台風16号が非常に強い勢力で日本列島に接近。九州南部に上陸し、大雨と強風による被害をもたらした。河川の増水で橋が流され、敷設しているドコモの通信ケーブルも断線。その先の基地局がサービス中断に陥った。これに対しドコモは、通信ケーブルの復旧には時間を要すると判断し、臨時の衛星回線を用いた応急復旧機器や周辺基地局からの電波を増幅する可搬ブースターを用いて通信サービスの迅速な復旧を実現した。

主な被害状況(鹿児島県大隅半島)



河川の増水により橋が流され、橋に沿うように設営していた通信ケーブルも切断された。

増水により流された橋の様子(垂水市)



強風により、各所で倒木が発生。電力線が切断された。

強風による倒木で倒れた電柱

災対機器によるエリア救済の実施



可搬型衛星エントランス装置



可搬ブースター
(黄色枠内が周辺基地局向けアンテナ)

